

特別支援教育推進委員会 ニュースレター

今年度も特別支援教育に関わる活動を継続します。
よろしくお願いいたします！！

お久しぶりです。特別支援教育推進委員会です。今年度も私たちの活動をお知らせいたしたく、お手紙をお届けします。

さて、特別支援教育制度が開始され、今年度で12年目となります。本県においては、特別支援学校に教職以外の専門職が関わり、教師と連携して子どもたちを支援する外部専門家活用事業が開始されてから、7年目となります。東日本大震災後の特別予算として始まったこの事業も現場の先生方の要望もあり、継続されています。本委員会は、特別支援教育に作業療法を根付かせるための活動を行うべく、県士会に特設委員会として設置されました。その活動も今年で5年目となります。様々な課題はありますが、今年度もよろしくお願いいたします。今年度は、県士会員に広く本委員会の活動を知っていただき、特別支援教育に寄与できる人材育成に力を入れていきたいと思っております。

<研修会を開催します>

今年度は、「**特別支援教育に携わる作業療法士の実践!**」を開催いたします。

日時：令和元年8月10日(土)

会場：東北文化学園大学3号館3階評価学実習室I

講師：神奈川県座間養護学校 本間嗣崇氏(OTR)

会費：3,000円

今年度は、特別支援教育においては先駆的に取り組まれている神奈川県のOTに講師を務めていただきます。より実践的な内容になっています。だからと言って、発達領域以外の方でも大丈夫!実際に業務として関わっている方はもちろん、興味のある方も是非!多数の参加をお待ちしています!!

今年度もやります!見学同行

昨年度から、始めました特別支援学校見学同行を今年度も宮城県教育委員会、特別支援学校の関係者の皆様のご理解とご協力を頂き、今年度も実施できる運びとなりました!!

支援学校はどのようなところ?OTは何をしているの?そんな疑問をお持ちの県士会員の皆さま、是非ともご応募ください。詳細は後日、県士会HPで案内いたします。乞うご期待!!

予定校：気仙沼、山元、小松島松陵、光明、船岡 各支援学校

発達領域の現場を紹介します

地域での仕事には、魅力がいっぱい!

地域の**児童発達支援センター**で働いているOTです。地域での仕事の魅力は、なんととっても、お一人おひとりの生活に近いことです。実際の生活に近い分、子どもたちやご家族にとっての「意味のある作業」にたどりつきやすいのです!「その方の生活が見える」仕事の環境は、作業療法士にとっては、働きやすく、やりがいを感じる環境だと思います。またもうひとつ、他の職種の方々とがっつり一緒に働けることも地域の魅力です。地域では、こどもの姿を他の職種の方と同じ場面で共有する機会が多いので、こどもを捉える視点が複眼的になるおもしろさがあります。みなさんも、「地域」で働いてみませんか☆ (委員M)

一口メモ **児童発達支援センター**とは、その地域に住んでいるお子さんたちが、育ちに心配や不安がある場合に、ご相談に乗ったり、支援方法を一緒に考えたり、関係機関と連携を図ったりする支援機関です。県内にも児童福祉法改正後たくさんできてきていますが、OTの所属しているところはまだまだ少ないです。